別紙

これまでの主な実験の成果と今後の支援方針

１．オープンカフェ等の道活用

道活用のうち、オープンカフェについては、全国４０地域以上で実験を行いましたが、既に本格実施へ移行している地域も見られるなど、国としての基本的な課題の検証は終わりました（成果はガイドラインとしてとりまとめ)。今後は、幹線道路等の道路空間を活用した大規模イベントなどのその他の道活用（オープンカフェについては各地域で本格実施する際に新たに生じる課題に対応するもの）を社会実験として支援していきます。

（これまでの東北の事例）
- 平成１７年度　福島県郡山市　「郡山にぎわい・夢カフェ社会実験２００５」
- 平成１７年度　福島県会津若松市「神明通りオープンカフェ事業」
- 平成１６年度　岩手県東和町　「にぎわいの”みち”・暮らしの歩道」協働型社会実験」
- 平成１６年度　岩手県盛岡市　「盛岡シネマタウン社会実験」　など

２．歩行者優先施策

トランジットモール、ハンプ・狭さく、流入規制等については、全国１７地域で実験を行いましたが、３地域しか本格実施に至っていません。今後は、トランジットモール等の先進的な施策の更なる検証を進める実験及びハンプ・狭さく等の本格実施に向けた熟度が高い実験を中心として社会実験として支援していきます。

（これまでの東北の事例）
- 平成１７年度　青森県八戸市　「八戸市都心再生にぎわいトランジットモール社会実験」
- 平成１６年度　岩手県紫波町　「過去と未来が循環する人にやさしい街づくり実験」など

３．自転車優先施策

自転車走行レーン・レンタサイクルについては、全国８地域で実験を行い、４地域で本格実施に移行するなど、基本的な仕組み・手法は確立されていると考えています。今後は、車道を含む道路空間の再構築など新たな施策を中心として社会実験として支援していきます。

（これまでの東北の事例）
- 平成１６年度　秋田県美郷町　「地域連携サイクルマネジメントによる活性化実験」

４．パークアンドバスライド等の公共交通支援

通勤・観光地パークアンドバスライドについては、全国９地域で実験を行い、５地域で本格実施に移行するなど、基本的な仕組み・手法は確立されていると考えています。今後は、駐車場の予約システムやＬＲＴの導入実験など新たな施策を中心として社会実験として支援していきます。